

Virtual Private Cloud OnDemand を導入するための 3 つの簡単な手順

クラウド コンピューティング リソースに即時にアクセスできる VMware vCloud® Air™ Virtual Private Cloud OnDemand は、VMware vSphere® 環境と完全な互換性を持つクラウドを最も容易に利用できるツールです。仮想プライベート クラウドは、次の 3 つの簡単な手順で入手できます。

1. アカウントの作成

Virtual Private Cloud OnDemand の利用を開始するために必要なものは、ブラウザとクレジットカードだけです。対応しているブラウザは、Chrome 27 以降、Firefox 3.6 以降、Internet Explorer 10 以降、Safari 4 以降です。まず、My VMware の認証情報を使用してログインするか、お使いの E メール アドレスで新しいアカウントを作成します。

続いてお名前、会社名、ご住所、クレジットカード番号を入力し、請求先情報を指定します。確認ページが表示されれば登録完了です。数分以内にアクティベーションの E メールが届きます。

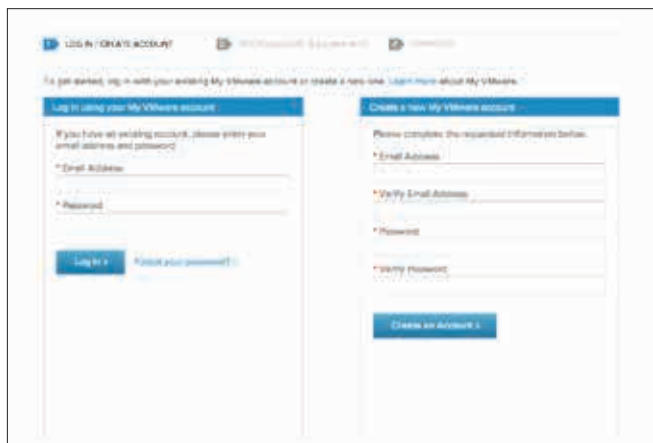


図 1: セルフ サービスで行う利用登録

2. 仮想マシンの作成

Virtual Private Cloud OnDemand への初回ログイン時に、ルーティング ネットワークとゲートウェイを備えた「VDC1」という仮想データセンターが自動的に作成されます。仮想データセンターは、仮想マシンを格納、展開、運用する環境です。キャパシティの上限を急激に引き上げたり、リソースを管理しやすい単位にまとめたりできるように、複数の仮想データセンターを作成できるようになっています。仮想データセンターの名前は変更可能です。また、仮想データセンター（および関連する仮想マシン）を削除することもできます。

最初の仮想マシンを作成するには、[Create Your First Virtual Machine] をクリックします。ウィザードが起動したら、2 段階の簡単な手順にしたがって設定ができます。

- VMware パブリック カタログ（よく使用されるオペレーティング システムとアプリケーションのカatalog）から定義済みのテンプレートを選択するか、[My Catalog] にアップロード済みのカタログのリストから選択します。仮想マシンの作成にテンプレートを使用しない場合は、VMware vCloud Director® で独自の仮想マシンを作成できます。その場合は、[Create My Virtual Machine from Scratch] を選択すると、vSphere vApp™ とその仮想マシンを作成することができます。
- ウィザードに用意されているシンプルなスライダを使用して、必要な CPU、メモリ、ストレージ、およびネットワーク接続を選択します。仮想マシンの CPU、メモリ、ストレージ リソースを臨機応変に調整できます。変更する仮想マシンを選択し、[Actions] メニューから [Edit Resources] を選択します。

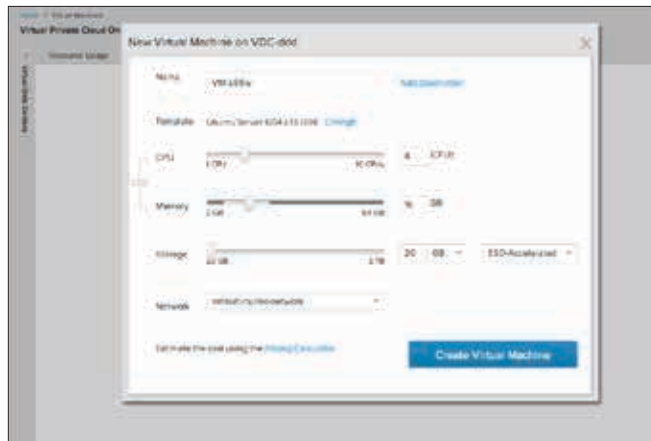


図 2: 仮想マシンのリソースの定義

3. リソース使用率の確認と監視

登録が完了して運用を開始すると、仮想データセンター内のすべての仮想マシンや特定の仮想マシンのリソース使用率のデータを確認できます。[Resource Usage] タブに、現在の未請求分の使用率が表示されます。表示されるデータは、ストレージの使用率については 1 か月単位、仮想 CPU、vRAM、パブリック IP アドレス、およびライセンスの使用率については 1 時間単位で集計されたものです。1 か月、1 日、過去 24 時間、または過去 1 日を基準にしてリソース使用率を表示できるので、使用の傾向を明確に把握することができます。

Virtual Private Cloud OnDemand では、使用したリソースを分単位で測定する従量課金制を採用しています。リソースが分単位で課金されるため、予測ではなく実際の使用量に基づいて効率的に予算を配分することができます。つまり、リソースを必要以上に購入してしまう、あるいは十分に活用できない、などの懸念はなくなります。ニーズや予算に合わせてキャパシティを動的に拡張または縮小できます。請求対象は、使用したリソースの分だけです。

期間を定めた契約を結ぶ必要はありません。つまり、Virtual Private Cloud OnDemand では、クラウドに安全かつ即時にアクセスできるだけでなく、毎月の支払い金額の予測もできます（毎月同じ日にクレジットカードに請求されます）。

導入方法

Virtual Private Cloud OnDemand は、オンサイトの vSphere 環境とシームレスに統合できます。そのため、従来と同じ信頼のおけるプロセス、ツール、ネットワーク、およびセキュリティを活用できます。導入方法は簡単です。次の Web ページでご登録ください。

<http://vcloud.vmware.com/jp/service-offering/virtual-private-cloud-ondemand>



図 3：リソース使用状況の監視